

| 主催支所  | 参加者所属<br>(高齢者相談センター職員を除く)  | テーマ                                 | 事案の概要   |
|-------|--|-------------------------------------|---|
| 第2育秀苑 | 信用金庫、ほっとサポートねりま、民生児童委員、居宅介護支援事業者(3か所) 総合福祉事務所相談係                           | 認知症高齢者と金融機関の関わり方                    | 妻と2人暮らし、自立、家事は妻がほぼ行う。<br>認知症と診断され、介護保険認定申請もしていたが、サービスは利用せず。しかし、認知症が悪化し、お金の執着を持つようになり、信用金庫で「自分のお金がなくなった」などと騒いでしまい、警察沙汰になる。目を離すと信用金庫に行くため、妻の疲労が激しく、精神的にも不安になる。再検査と服薬調整により行動が落ち着き、通所介護の利用も始めたことから、妻の不安も解消されつつある。 |
| 桜台    | 本人、夫、地域住民、自治会、民生委員、診療所、居宅介護支援事業者、スーパー、認知症サポートセンター、見守り訪問員、練馬警察署、高齢者支援課在宅療養係 | ～出かける高齢者～見守る地域(高齢者が安心して暮らしていける地域とは) | 夫と2人暮らし。家事はほぼ夫が行う。認知症で短期記憶障害あり。<br>妻の物忘れが心配だということで夫が支所に相談。認知症専門医の受診をしたが、夫の病院に対する不信任感により中断していた。その間、出かけて帰れなくなり、空腹でスーパーの牛乳を勝手に飲んでしまって、スーパーから連絡が入るということがあった。<br>現在は、受診を再開し、通所介護を2回利用するようになり、落ち着いて暮らしている。          |
| 豊玉    | NPO、近隣住民、民生委員、敬老館、練馬消防署、練馬警察署、練馬まちづくりセンター、練馬区社会福祉協議会、東部土木出張所               | 草木の手入れがされず、介入を拒む独居高齢者の支援について        | 独居、自立。身なりは不衛生な状態で、いつも同じものを着ている。過去には大学で農業系の教鞭をとっていた。自宅以外にも他県にも家を所有している。<br>自宅の草木は伸び放題で、居室内外もビニール袋に入った荷物が多量あり、近隣トラブルとなっている。一方、他県の家は、間伐材を使用した新築の建物であり、地域住民に開放している。庭に希少な梅を栽培し、地域から感謝されているという二面性をもっている。            |
| 練馬    | 民生児童委員、自治会、バス営業所、コンビニ店長、練馬警察署生活安全課防犯係                                      | 地域で気になる高齢者とその家族の見守りと支援              | 独居、尿失禁、歩行は一本杖使用、金銭管理・家事の一部を子が行う。<br>衣類や髪が汚れており、失禁や尿臭がある。路線バス内で失禁し、シートを濡らしてしまうことが何度もあったため、乗車拒否となっている。外出して帰れなくなり、警察等に保護されたこともある。介護サービスや受診も拒否。家族のこれ以上の支援は難しい。  |
| 練馬区役所 | マンション管理組合、地域美容院、地区民生委員、練馬警察署生活安全課、練馬消防署生活安全担当係、鍵屋、配達サービス、病院医療相談員           | マンション住まいの独居高齢者の見守り・安否確認ネットワークについて   | 独居、自立(毎日電車で外出)。ペット好きで、近隣の犬に勝手に餌をあげてしまうという苦情が民生委員に入り、以後支所が定期的な訪問や電話での見守りを行っていた。<br>平成27年8月、近隣住民の通報で、警察が居室内で倒れている本人を発見する。緊急搬送されるが、その後死亡。  |
| 中村橋   | 診療所院長、練馬消防署、練馬警察署、信用金庫、民生委員、診療所職員、薬局、社会福祉協議会、宅配弁当、居宅介護支援事業者、生活支援員          | 精神疾患があっても在宅生活が継続できるよう地域の中でどう支えていくか  | 独居、要介護2、アパート、家事全般に支援が必要、統合失調症の疑い、親族とは疎遠。<br>被害妄想、物忘れがあり、暴言・暴力もあるため、同じアパートの住民とトラブルを起こしているが、本人は他人との会話・交流を求めている。<br>ヘルパーを週1回利用しているが、精神科への受診はできていない。  |